# 京都だより

Kyoto Dayori


●けんちくつれづれ草　第215回
**北丹後震災と復興について**
●事業案内
建築家セミナー2026
令和7年度 国内研修旅行 ～直島・香川アート巡り～
●お知らせ
「事務局移転」について
入会キャンペーン
●特集
**結露は夏に起きている。**
●報告
京都工学院高校出前授業 ～2年生向け～
[建築士の日]つくって学ぶ！家まもりづくり体験
[建築士の日]～プロカメラマンと巡る建築散歩～
令和7年度 第34回 全国女性建築士連絡協議会（山形）
2級建築士設計製図試験受験講習会
会員親睦ビアパーティ
福知山 木で命をつなぐ・木の命をつなぐ
2つのサステナブル建築の見学会
第1回 すべての建築士のための総合研修
支部合同会議
京彩まちあるき＋デジタルマップ整備
子ども向け事業 合板芯材でミニモルック作り①
バリアフリー親子体験会
第5回 関西若手建築家の実例から学ぶ
六原フェスタ2025 合板芯材でミニモルック作り②
宮津天橋高校出前講座
支部会議
北部見学会
●支部だより
産業と信仰が息づく場所――峰山町・金刀比羅神社の狛猫
●作品紹介募集の案内
●表紙のことば『祇園町南側』






March
2026
No.579

3

一般社団法人 京都府建築士会

# つれづれ草（けんちく）

第二百十五回

岩田　信一

いわた・しんいち
一級建築士
（一社）京都府建築士会 常任副会長

## 北丹後震災と復興について

北丹後地震は、１９２７（昭和２）年３月７日18時に発生した直下型地震です。マグニチュード７・３、震源地は京丹後市網野町郷。兵庫県豊岡市、京都府京丹後市と宮津市で震度６、京都市、兵庫県洲本市、福井県福井市、敦賀市、奈良県橿原市、広島県福山市で震度５を記録した。北丹後地震という名称は気象庁の指定によるもので、丹後大震災と呼ばれています。当時設定されていた最大震度は６でしたが、震源地周辺では家屋倒壊率が１００％近い地域もあり、震度７相当と推定される場合もあります。丹後半島南北にわたる郷村（ごうむら）断層と、東西にわたる山田断層の一部が地表に現れ、日本においてはじめて「活断層」の用語が使われました。被災当日は冬季であり、夕方であることから暖房や炊事の火を原因とする火災が各所で発生し、住宅や丹後ちりめん織物工場など97％（８、２８７戸）が焼失した。人口に対する死亡率は22％（２、９２５人）に達した。被災直後に降雪と降雨による寒さが被災地を襲い、被災者は二重の苦しみを負うこととなった。救援活動は道路や鉄道が寸断されたため海軍も出動、震災各地に救護隊を海より上陸させて活動した。北丹後地震の直前、１９２３年関東大震災や１９２５年北但馬地震の発生があったことから、地震や断層への関心が集まり様々な機関の研究者が多方面から調査が行われ、この地震を契機に地震学が大きく進展したそうです。昨年北但馬地震より１００年、兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）より３０年を迎えましたが、北丹後地震も来年で１００年を迎えることとなります。

震災復興について、関東大震災の復興経験をもとに行われ、道路拡幅等の復興と産業復興を優先に行われました。過密市街地の再区画整理は行わず、著しくまち並みが変わらないような配慮を行うと共に、場所に応じて格子状の街路を設定した。市街地を農地転用し耕地整理を実施するなど、町ごとに復興のあり方を検討したという。京丹後市として、被災経験の記憶と警鐘として被災日時に黙祷及びサイレンを鳴らしている。全国統一防火運動のきっかけとなりました。

全国より震災義援金をいただき、かなりのスピードで復興が実施され、その残金にて被災者慰霊を目的に丹後震災記念館（写真）が提案され、被災２年後の１９２９年12月18日に旧峰山町全員を望める丘に竣工しました。２００５年に京都府指定文化財に登録された。丹後震災記念館の建築は、設計は一井九平、施工は山虎組。図面は現存していませんが、設計書・仕様書などは残されています。

震災記念館、外観の特徴はヨーロッパ歴史様式の影響を受けた三層構成に基づく壁面意匠を示します。腰壁はタイル張り、外壁は柱型が現れないフラット、開口上部はアーチ状で正面車寄せもまたアーチとされています。内部は柱型と梁型が交差する箇所にハンチが入れられ、柱―梁の交差部に近づくにつれて梁成が大きくなり、優雅で力強いデザインとされています。

一井九平の設計としては丹後震災記念館の他、網野小学校の設計も行っていますが、現存しているのは峰山小学校講堂です。

現在、丹後震災記念館も峰山小学校も耐震性能不足により閉鎖されていますが、丹後震災記念館については２０２４年より耐震化・利活用検討委員会が組織され、複数回のパブリックミーティングによる意見交換会や小中学校に向けて北丹後震災について市民への資料展示及び市民講座を繰り返し行い、市民理解を得ながら耐震化・利活用の可能性について検討しています。私も京都府建築士会常任副会長であると共に京丹後市の出身者として、副委員長として参加しています。単なる建築物の継承だけではなく、１００周年を迎える北丹後震災の記憶の継承と防災に強いまちづくりと防災意識の向上を目的に、全国からの義援金で建設された当時の人々の思いを後世に引き継いでいこうと進めています。現在、詳細は説明することはできませんが、その日が来れば発表させていただきたいと思います。

昨年能登半島を視察しましたが、震災から２年経過しやっと解体工事が始まったところです。道路についてもまだまだ損傷しており、危険な箇所もたくさんあります。一刻も早い復興を願うと共に、建築士としてできることを行っていきたいと思います。


内部


外観


2025年建築士の日事業時ファサード


建設当時の外観

# Event Calendar 2026

4 ← 3 Exhibition Seminar Symposium Event

## 建築家セミナー2026

青年部会 研修・セミナー担当会

●ＣＰＤ　2単位
●日　時　2026年3月22日（日）
　午後2時～午後4時
●会　場　ウィングス京都
●講　師　FUJIWALABO 藤原徹平 氏
●参加費　無料
●定　員　240名（要事前申込／先着順）
●申込締切　2026年3月15日（日）
●内　容
日本建築界の第一線でご活躍され、第13回京都建築賞最優秀賞を受賞されました藤原徹平氏にご講演頂きます。
ミニマルなデザインでありながら、都市空間や自然の中に存在する「境界」や「関係性」を問い直すような建築作品の紹介を通して藤原徹平氏の建築の考え方を学び、参加者の建築活動等の発展に寄与することを目的とします。

## お知らせ

### 「事務局移転」について

（一社）京都府建築士会　事務局を令和8年3月11日より下記の住所に移転することになりました。
移転に伴う窓口休業とあわせてお知らせいたします。

◎ 事務局窓口休業 ◎
令和8年3月4日（水）～3月10日（火）

※休業期間は、電話・FAX・メール等は不通になります。ご理解くださいますようお願い申し上げます。

【新住所】
〒600-8436
京都市下京区室町通松原下ル元両替町254
TEL（075）211-2857
FAX（075）255-6077
※電話番号・FAX番号の変更はございません。

◎ 事務局通常業務再開 ◎
令和8年3月11日（水）～

## 令和7年度 国内研修旅行 ～直島・香川アート巡り～

青年部会 研修・セミナー担当会

●ＣＰＤ　7単位
●日　時　2026年4月18日（土）～19日（日）
●集合場所　京都駅 アバンティ前
●会　場　香川県内 高松市近郊及び直島
●参加費　会員：38,000円
　一般：43,000円
●定　員　35名
●申込締切　2026年3月31日（火）
●内　容
研修旅行では、直島をはじめとする瀬戸内地域の建築・美術文化を実地で学ぶことを目的とします。特に谷口吉生、安藤忠雄といった著名建築家の設計による美術館建築を現地で体感することにより、建築設計における空間構成・意匠・ディテールの実践的理解を深めることを目的としています。また、会員同士の交流を通じて、建築士としての見識とネットワークの拡充を図ります。是非ご参加ください。

見学先予定
1日目:
本福寺 水御堂、瀬戸内海歴史民俗資料館、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、香川県立東山魁夷せとうち美術館
（高松市内に宿泊）
2日目:
ANDO MUSEUM、南寺、直島新美術館、地中美術館
※行先は予定です。

## お知らせ

### 「京都だより」特集まとめ

（一社）京都府建築士会のホームページで、「京都だより」の特集をまとめたPDFをご覧いただけます。

## 3 March

Mon 2 常任理事会
Wed 4 窓口休業（3/4～3/10まで）
Sun 8 歴史的建造物 デジタルマップ整備まち歩き 〈左京区上高野地区〉
Tue 10 監理技術者講習
Wed 11 窓口業務再開（新事務局）
Mon 16 支部長会議／理事会
Tue 17 七彩の会
Sat 21 「京都花街の都市史・建築史」第6回：まちあるき
Sun 22 建築家セミナー2026

## 4 April

Mon 6 常任理事会
Sat 18 京北「山の現場見学会 川上から川下まで」
令和7年度 国内研修旅行 ～直島・香川アート巡り～ (4/18～4/19)
Tue 21 七彩の会
Fri 24 臨時理事会

※注意：京都建設会館の駐車場は利用できません

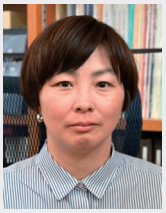
## 参加申込

電話・FAX、またはホームページからお申し込みください。事業内容の詳細は、ホームページをご確認ください。

（一社）京都府建築士会事務局
TEL075-211-2857　FAX075-255-6077
https://www.kyotofu-kenchikushikai.jp
E-mail:contact@kyoto-kenchikushikai.jp

# 結露は夏に起きている。

伊庭　千恵美



いば・ちえみ
京都大学大学院
工学研究科建築学専攻 准教授
東京文化財研究所　客員研究員
建物まわりの熱・湿気の動きに関する調査研究を行っている。
最近の主なテーマは石造歴史的建造物の保存修復方法と、博物館施設の保存環境と省エネルギー。

## 「湿害」：結露はなぜ問題なのか

2025（令和7）年夏、京都府建築士会の「すべての建築士のための総合研修」において、結露をテーマに講演を行う機会をいただいた。本稿では、当日の講演内容を振り返りつつ、近年の建物・設備設計において避けて通ることのできない「湿気」という問題について改めて考えてみたい。

「事件は現場で起きている」という有名な台詞を彷彿とさせるタイトルを掲げたが、この表現は決して大げさなものではない。実際に結露は建物のあらゆる現場で発生しており、特に目視が困難な部位での結露は、発覚した段階で既に建物や収容されている物に深刻なダメージを与えているケースが少なくないからである。

そもそも結露とは、空気中に含まれる水蒸気が、周囲の温度低下や低温の表面への接触によって凝縮し、液水へと変化する物理現象を指す。湿気に由来する建物への被害を「湿害」と定義する[1]が、結露という現象そのものが直ちに「悪」であるわけではない。例えば、図1のように晴れた朝に屋根瓦の表面が放射冷却によって濡れる現象を見て、「結露している！問題だ！」と騒ぎ立てる人はいないだろう。それは、屋根という部位が雨露に曝されることを前提に設計・施工されているからである。窓ガラスの結露も、ガラスそのものが水によって変質することはないため、それ自体は軽微な現象と言えるかもしれない。しかし、その結露水が窓枠の木部を腐らせ、カーテンにカビを発生させ、居住者の健康を害するようになれば、それは明確な「湿害」となる[1]。また、結露によって「外を見る」という窓本来の機能が損なわれることも、一つの害と捉えることもできる。

結露による害と聞くと、壁表面の汚れや変色といった意匠的な劣化、カビの発生による室内空気質の悪化、木造の躯体の腐朽や金属部材の錆びによる耐力低下などがすぐに思い浮かぶ。それらもさることながら、建築実務者にはより深刻に捉えてほしいこととして、建物の基本性能を支える「断熱材」への影響が挙げられる。一般的な断熱材は、内部に含まれる空気の対流伝熱を小さくし[2]、静止空気の低い熱伝導性を利用して熱の移動を遮断している。しかし、結露によって断熱材が水分を含むと、その性能は劇的に低下する。表1より水の熱伝導率は静止した空気の約25倍に達し、さらに寒冷条件下でその水が凍結すれば、氷の熱伝導率は空気の約90倍という極めて高い熱伝導率を示すことになる。つまり、湿気を含んだ断熱材は、もはや断熱材としての役割を果たさない。

この性能低下は、外壁や屋根といった建築外皮のみならず、空調ダクトや給湯配管、蓄熱槽などの設備系においても顕著に現れる。断熱性能の低下は空調エネルギーの増大を招くだけでなく、さらなる表面温度の低下を引き起こし、結露が結露を呼ぶ負の連鎖を招く。本稿の後半では、こうした実務上の課題を象徴するいくつかの事例を紹介していくが、その前に、私たちが直面している気候環境の変化について整理しておきたい。

## 気候変動と外気の高湿化：換気で室内は乾燥する？

京都は、1997（平成9）年に京都議定書が採択された気候変動対策の象徴的な地である。それから約30年、私たちは「気候変動」を単なるニュースのトピックではなく、肌身に感じる現実として受け止めるようになった。地球温暖化の影響は顕著であり、京都市における最高気温35℃以上の猛暑日は、2025（令和7）年には61日を数えた。7月30日には最大値である39・6℃を記録しており、国内では豪雨や水害が増加し[4]、これまでとは何かが違う、という感覚は多くの人が持っているのではないだろうか。

気象庁のデータ[5]を基にした長期的な外気温の変化（図2）を確認すると、大正時代に入った1912年あたりから夏期・冬期外気温の上昇傾向が見られ、京都市の年平均気温は3℃以上上昇している（季節によってグラフの縦軸の数値が変わっていることに注意が必要であるが、一目盛りの大きさは揃えている）。

注目すべきは、温度だけでなく、「湿気」の質が変化している点である。図3および図4に示される相対湿度、水蒸気圧と露点温度の推移は、建築設計における重要な視点を示している。か

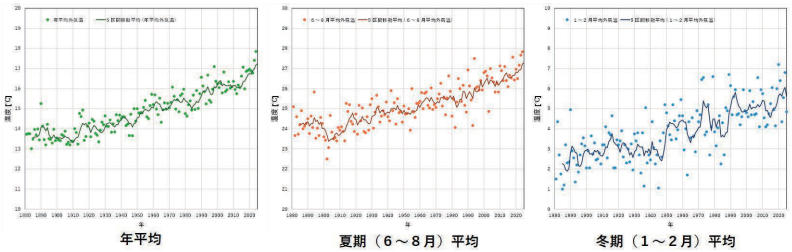



図2　京都市の平均外気温の推移
（1880～2024年）
いずれも月平均温度の平均をとったもの。
実線は5区間移動平均を示している。

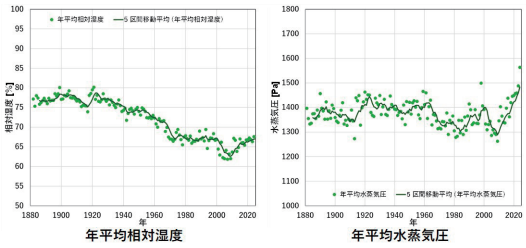



図3　京都市の平均相対湿度・水蒸気圧の推移
（1880～2024年）
平均温度からWexler-Hylandの式を用いて飽和水蒸気圧を計算し、
平均相対湿度を用いて水蒸気圧に換算した。
実線は5区間移動平均を示している。

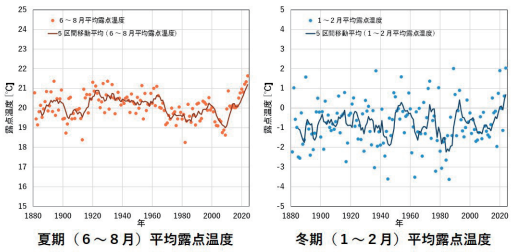



図4　京都市の夏期・冬期の露点温度の推移
（1880～2024年）
平均水蒸気圧からTetensの式を用いて露点温度を計算した。
実線は5区間移動平均を示している。

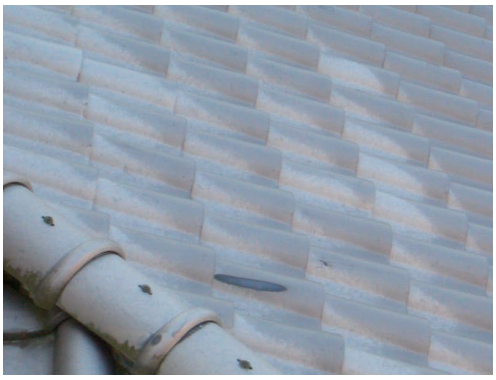


図1　早朝に見られる屋根瓦表面の結露

| 物質 | 熱伝導率 [W/(m・K)] | 備考 |
|---|---|---|
| 空気（静止） | 0.0241 | 0℃における値 |
| 水 | 0.589 | 20℃における値に換算 |
| 氷 | 2.2 | 0℃における値 |

表1　物質の熱伝導率[3]

つての都市化プロセスにおいては、気温上昇に伴い相対湿度が低下する傾向が見られた[6]が、2010年頃を境に、夏期の水蒸気圧が急激に上昇し始めているのである。2024年夏期の平均露点温度は21・6℃を記録し、瞬間的には25℃を超える時間帯もしばしば観測されている。

この「外気の露点温度の上昇」は、建築の実務において極めて重大な意味を持つ。外気の露点温度が、冷房された室内の温度（例えば22℃～25℃）に近づいてきているからである。もし、設定温度22℃の室内に対して、処理を施していない外気をそのまま導入すれば、室内の壁面、床面、家具の表面で即座に結露が発生するか、あるいは布や紙、木材といった吸放湿性を有する素材は、しっとりと湿気を帯びることになる。

これまで、結露対策といえば「冬」が主であり、乾燥した外気を取り入れることで室内の水蒸気を排出することがセオリーとされてきた。しかし現代の夏は、それが真逆の結果を招く。「換気をすれば室内が乾燥する」という認識に基づき、安易に生の（空調機で処理していない）外気を取り入れれば、室内はあっという間にカビの温床となり、衛生環境の悪化を招くことになるだろう。

## 調査で遭遇した夏期結露・高湿化

夏の室内温度が22℃になるのは極端な例だと思われるかもしれない。また、現代の気密化された建物であれば、外気の影響は制御できていると考える設計者も多いだろう。しかし、私たちが調査してきた現場では、想定されていなかった原因で夏期の結露・高湿化が発生していた。これまでの調査研究をふまえ、いくつかの事例を紹介する。

### 1. 地盤の熱容量と地下室・床下の結露

「夏型結露」としてよく例に挙げられるものは、地下空間や床下での結露である。地盤は巨大な熱容量を持っているため、その温度変化は外気温の変化に対して振幅が小さく、位相が大幅に遅れる。大阪府豊中市の気象データを用いて地盤温度を計算した結果によれば、外気温が8月上旬にピークを迎えるのに対し、地表面から1m下の地温は、梅雨時期の6月末時点ではまだ20℃前後に留まっており、ピークは9月まで訪れない。京都市内の井戸水の調査でも、水温は年間を通じて17～19℃で安定していることが確認されている[7]。このような低温の地盤に接する地下室や床下に、水蒸気圧の高まった夏季の外気が流れ込めば、表面温度が露点温度を下回り、深刻な結露を引き起こす。地盤を背負う斜面に建つ建物でも同様の

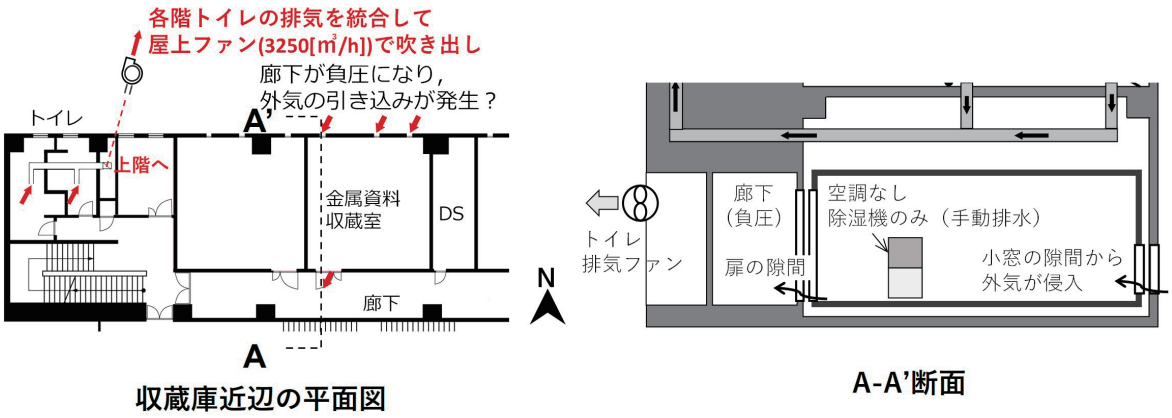



図5　収蔵庫の高湿化の事例



図7　食品スーパーでの結露
左：冷蔵ショーケース下部の結露水の滴下　右：天井面結露によるカビの発生




図6　天井裏空調ダクトの結露
左：結露水の流下による天井と壁の汚れ　右：断熱材から染み出た結露水

ことが起こる。床下の湿気を取り除くために換気量を増やすことが、季節によっては逆に「湿気の供給」を加速させることを、意識しておく必要がある。

## 2. 博物館収蔵庫：建物全体の圧力バランスの影響

関西地方のある博物館の収蔵庫で発生した事例は、一室の設計だけでは解決できない湿気問題の複雑さを物語っている[8]。その収蔵庫は、もともと一般資料の保管室（二重壁構造）として設計されていたが、金属資料の収蔵庫として使用するため、外壁側の内壁を断熱改修し、大型エアコンが設置された。一般に金属資料を保管する室では、高湿による錆びを防ぐため相対湿度を40%以下とすることが推奨されている。

ここでは稼働1年目の夏に弱冷房除湿を行ったところ、室内湿度が80%近くまで上昇するという事態に至った。翌年、強力な家庭用ヒートポンプ式除湿機を導入したところ、湿度は目標値まで低下したが、今度は除湿機のタンクが1~2日で満水になり、排水の手間が問題となった（ドレン管は使えない部屋であった）。人の出入りの少ない収蔵庫では、内装材などが保持している水分がある程度放出されたら除湿量も減少し、タンクの排水頻度も減ることが想定されていたが、満水になるペースは変わらなかった。そこで、室内に高湿の外気が継続的に流入している可能性が考えられた。

調査の結果、意外な原因が判明した。この収蔵庫が位置するフロアの別の場所にある「トイレの排気ファン」が、建物全体の圧力バランスを崩していたのである。最上階のファンで各階のトイレをまとめて排気していたため、廊下が負圧となり、その引き込み力によって、収蔵庫の外壁にあるわずかな小窓の隙間から、高湿な外気が二重壁の空気層を経由して室内に絶え間なく流入していた（図5）。実際に、扉の目張りや小窓の気密化、ファンの停止といった実験を行うことで、除湿量が大幅に減少することが確認された。この事例は、気密性能の重要性とともに、建物全体の換気経路と圧力バランスがいかに重要であるかを示している。

現在は、除湿機をドレンに接続できたため、恒常的な除湿を行うことができるようになったが、高湿の外気を取り入れてエネルギーをかけて水にし、捨てていることに変わりはない。根本的な解決を図るには、外気に接続する小窓の閉鎖、トイレの排気経路と廊下を分離するなどの対策が必要となる。

## 3. 天井裏の空調ダクト：結露によるエネルギーロス

次に挙げる事例は、同じ博物館の別フロアで発生した、天井裏ダクト表面の結露である。廊下の壁を黒い結露水が伝い落ちたことで発覚したこの問題は、施工状態と気密性の低さが重なった結果であった（図6）。この廊下は機

械室と収蔵庫の間にあり、機械室のパッケージエアコンとヒータ、加湿器で温湿度を調整された空気が、廊下の天井裏のダクトを通り、収蔵庫の天井裏に吹き出していた。収蔵庫の設定温度は1年を通して20℃であり、冷房期の吹出し空気の温度は14～18℃であった。

天井裏のダクトはアルミ箔付グラスウールで断熱されていたが、至るところに切れ目があり、防湿層としての機能を失っていた。測定の結果、天井裏の空気の露点温度は外気（20～24℃）とほぼ等しい状態にあった。防湿層の欠損部から入り込んだ水蒸気がダクト表面で凝縮し、グラスウールが継続的に吸水していたのである。保水した断熱材は熱伝導率が増大し、夏季のダクトでの熱取得を大幅に拡大させていた。興味深いことに、冬季には同様の熱損失が見られなかったが、冬季は逆に高温の空気がダクト内を通ること、低湿な外気が流入することで断熱材を乾燥させ、本来の性能を回復させていたためと推測される。

似たような事例で、天井裏の冷媒配管などのさらなる低温部での結露がある。冷媒配管は基本的に断熱されているが、従来の断熱厚ではもはや防露が不可能な外気条件になりつつある。さらに、天井裏空間は気密性が担保されず、空調範囲の外に置かれることも多い。空調設備が設置される場所の温湿度管理は、今後の設備設計における大きな懸念材料といえる。

## 4. 食品スーパーの結露と汚れ

最後に、食品スーパーにおける事例を紹介する。生鮮食品の鮮度維持と冷蔵ショーケースの冷気により、店内の温度は極めて低く保たれていることが多い。ある店舗では、「外気処理空調機（外調機）」により外気を導入することで室内を負圧にしない設計となっていたが、省エネのために停止させたことが、問題を引き起こした。売り場と繋がる食品加工場や厨房の大型換気扇が回る一方で外調機を止めたため、店内が負圧となり、自動ドアやバックヤードの隙間から未処理の高湿外気が一気に流入したのである。これが冷蔵ショーケース下部の低温部に触れ、床に結露水が滴下し、買い物客の転倒リスクを招く安全上の問題へと発展した。

別の店舗では、肉や魚、冷凍食品などが手に取りやすいように設置されている平置き型の冷凍ショーケースからの「冷放射」により、天井表面温度が低下し結露が生じた（図7）。特に、大雨後の高湿時に広範囲でカビが生じる事態となった。普段買い物客はわざわざ天井を見上げないとはいえ、食品を扱うスーパーで天井にカビが生えているのは気持ちの良いものではないと考える人が多いだろう。カビが生えるたびに拭き取ることも非常に手間のかかることであるし、汚れがひどくなった場合は天井材の取り換えで多大なコストがかかる。この対策として、天井材を放射率の高い材料から低い材料（アルミなど）へ交換したり、サーキュレーターによる気流攪拌で天井表面の温度差を解消する試みが行われている。

## おわりに

結露に関しては、もはや冬よりも夏の問題といえる時代が来つつある。空気の温度や相対湿度だけを見るのではなく、「空気の露点温度」と「物質の表面温度」を常に意識することが重要と考える。最近では安価で高性能な放射温度計が普及しており、現場で気になる箇所を実測する習慣を持つことが、結露予測の第一歩となる。ただし、金属などの放射率が低い材料の測定には細心の注意が必要であることも付け加えておく。

夏の講習会では湿り空気線図を用いて露点温度の説明をした。建築に携わる方であれば、学生時代に一度は触れたことがあるはずである。湿り空気線図の良いところは、空気の状態変化のプロセスが一目でわかるところである。ぜひお手元に一枚用意して設計や現場管理の判断材料として活用していただきたい。

夏の講習会は、私にとっても改めて夏の結露について考える良い機会となった。結露は単なる汚れやカビの問題ではなく、建物のエネルギー効率を損なう可能性があること、「意図しない空気の流れ」が様々な問題を引き起こすことに留意して、今後の設計に活かしていただければ幸いである。


［1］日本建築学会環境基準 AIJES-H0003-2021「建物における湿害の診断と対策に関する規準・同解説」，日本建築学会，2021

［2］断熱建材協議会：断熱建材ガイドブック，建築技術，2017

［3］国立天文台：理科年表机上版, 2019

［4］国土交通省カワナビvol.11まち全体で、みんなで水災害に備える流域治水の推進 https://www.mlit.go.jp/river/kawanavi/prepare/vol11_1.html

［5］気象庁ウェブサイト：過去の気象データ検索, https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/

［6］気象庁ウェブサイト：気候変動ポータル, ヒートアイランド現象 https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/himr/himr_2-2.html

［7］難波真衣 他：京町家の井戸水を利用した暖房が地盤温度に及ぼす影響, 日本建築学会学術講演梗概集, 環境工学, pp.1333-1334, 2016

［8］石川和輝 他：空気の移動を考慮した熱水分移動解析による博物館収蔵室の温湿度・気流性状の分析，日本建築学会学術講演梗概集，環境工学，pp. 979-980，2020

2025 6/18 Wed

青年部会 研修・セミナー担当会

## 京都工学院高校出前授業 ～2年生向け～

原　利行

［実施場所］
京都市立京都工学院高等学校

［結果報告］
京都工学院高校の2年生37名向けに、インターンシップ先の分野希望を決める直前のタイミングで出前授業を行いました。青年部会からの講師として6名を選定し、設計内容の異なる設計事務所3名、設計・施工のゼネコン1名、施工者1名、左官1名というバラエティー豊かなメンバーで、10分ずつのリレー講演を行い、建設業界の概要やそれぞれの分野の仕事で楽しい部分やりがいのあることなどを生徒に伝えました。

2025 6/29 Sun

2025 8/22 Fri

女性部会

## ［建築士の日］つくって学ぶ！家まもりづくり体験

徳光都妃子

［実施場所］
京都府瓦工事協同組合内京都瓦技術専門学校実習場／ゼスト御池御幸町広場

［結果報告］
過去2回の建築士のイベントは、歴史的建造物の見学会を実施しましたが、今回は、京都府瓦工事協同組合の協力の元、主に保護者を含むこどもを対象とした、鍾馗さんを作るというワークショップをひらきました。6月29日は、23組30名もの参加があり盛大なワークショップとなりました。初めに鍾馗さんの意味をしってもらう紙芝居をしてから製作にうつりました。J：COMのテレビ番組『ジモトトピックス』に取り上げてもらえました。そして、焼きあがった作品を展示するミニ展示会を、8月22日にゼスト御池の御幸町広場で開催し、平日にもかかわらず、6月29日のワークショップに参加された方が15組程がご来場いただき、紙芝居の再演、「しょうきさんマスター証」の授与をしました。また通りがかりの方にも紙芝居や作品を見ていただけました。アンケートには、来年も作りたいというご意見もありました。



2025 6/29 Sun

青年部会

## ［建築士の日］～プロカメラマンと巡る建築散歩～

原　利行

［実施場所］
PACE＆SPACE事務所、上賀茂神社、AIC秋津洲京都

［結果報告］
建築士の日の事業として、建築分野以外からの2名、奈良や大阪からの方を含む定員いっぱいの15名の参加者とともに楽しく開催しました。
内容としては、PACE&SPACE の鈴木さんをゲストをお迎えして、①鈴木さんの事務所にて建築写真の座学を学び、②上賀茂神社の特別参拝にて歴史と建物について学び、③普段なかなか入れない AIC 秋津洲京都の豪華絢爛な庭・建築・調度品が融合する空間を体験する、という贅沢な3部構成で行い、大いに盛り上がり、広く深く学べる時間となりました。





2025
7/19 Sat
7/20 Sun

## 女性部会
# 令和7年度 第34回 全国女性建築士連絡協議会（山形）

徳光都妃子

【実施場所】
山形テルサ 大会議室

【結果報告】
今回の日程の前に、山形新幹線が架線事故でダイヤが乱れ、全国女性建築士連絡協議会の当日も山形新幹線はダイヤが正常に戻っていませんでした。山形市内の気候は京都市を凌ぐほど暑く厳しい気候でしたが会場は新しく美しく快適でした。他県の女性建築士の活動報告は、「被災地」として4つの報告があり起きてしまった事態の検証とこれからの備えの重要性を感じました。基調講演の「木造建築の可能性」（瀬野和広氏と鍋野友哉氏）の講演は、大変興味深く勉強になりました。エクスカーションの、銀山温泉での有形登録文化財に指定された本館・古勢起屋の見学も魅力的で、温泉街のまちづくりも興味深かったです。






2025
7/19 Sat 〜 9/7 Sun

## 事業委員会
# 2級建築士設計製図試験受験講習会

能戸 謙介

【実施場所】
京都建設会館別館4階第3会議室

【結果報告】
今年も製図試験合格に向けた講習会を実施しました。製図基本コース7月2回、製図応用コース8・9月6回、2人という非常に少ない申込者となり、中止も考える状況であったが、委員の所属会社の協力もあり、実行することができました。例年に増してきめ細やかな指導を担当者・添削補助も行えたのではないかと考えています。結果、2人とも合格に到達できたことは委員会にとって大変喜ばしいことでした。次年度は厚生省の一般教育訓練給付金等の交付等を利用するなどして受講者の確保も検討することとしています。

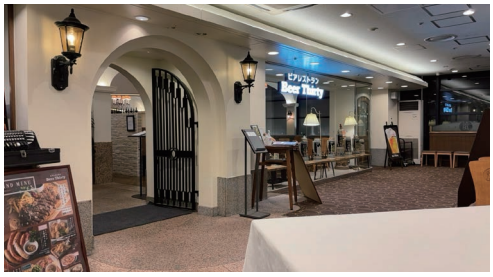
2025
7/25 Fri

## 会員厚生委員会
# 会員親睦ビアパーティ

一志 学

【実施場所】
ビアサーティー京都駅前
（旧アサヒビアホールルネサンス）

【結果報告】
今年も会員44名、賛助会員20名、非会員招待者14名の合計78名の皆様がご参加下さいました。新入会員参加者3名の自己紹介、賛助会員アピールタイムと山領会長よりご協賛いただいた景品争奪じゃんけん大会も盛り上がりました。各テーブルでは仕事の相談であったり、プライベートでの近況や困りごとの相談共有など、多岐にわたる内容をビール片手に楽しくお話していました。会員、賛助会員、非会員との交流懇親を深めることができました。






2025 8/7 Thu

## 木造建築研究会
# 福知山 木で命をつなぐ・木の命をつなぐ 2つのサステナブル建築の見学会

山本 晶三

**[実施場所]**
福知山市内周辺

**[結果報告]**
京都信用保証協会中丹支所は既存のRC造建物にCLTブロックで必要な機能を付加し、施設全体のアップデートがしやすくなっている。設計者の片岡英和氏の説明が好評だった。森の京都蒸溜所は地域の景観の中に佇む古い酒蔵を耐力格子などで改修、ジンの蒸溜所として再生した建物。京都市内から1・5時間の現地見学会であったが、当初予定の参加者数となった。支部会員や福知山行政の方の参加があったが、支部との事業連携が出来なかったことが課題。

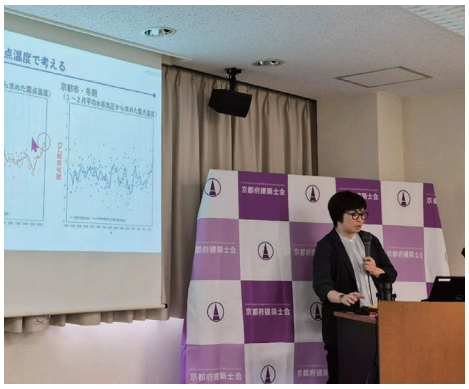
2025 8/20 Wed

## 研修委員会
# 第1回 すべての建築士のための総合研修

細見 建司

**[実施場所]**
京都建設会館別館4階北会議室＋WEB

**[結果報告]**
本年度の「すべての建築士のための総合研修」では、昨今大きな課題となっている「夏季の結露」をテーマとして取り上げました。結露は建築の性能や居住環境に深く関わる問題であり、参加者の皆さまの関心も非常に高く、例年を上回る盛況な研修となりました。当日は意見交換の時間は設けませんでしたが、研修終了後のアンケートや参加者からの声を通じて、多くの方々から「実務に直結する内容であった」「結露問題の理解が深まった」といった高い評価をいただきました。







2025 9/7 Sun

## 女性部会
# 支部合同会議

**[実施場所]**
京都府茶業会館

**[結果報告]**
宇治川のほとりに建つ、京都府茶業会館で支部合同会議とワークショップを行いました。参加人数は計画時は20名であったところ、14名という人数にとどまりましたが、宇治支部の会員はもちろん、福知山支部の会員や京南支部長ご参加もご参加頂けたことは良かったと思います。会議は、今年度の残りの事業についての説明を行いました。その後、和菓子作りキットを利用した手作り和菓子を作り、それを持って和室に移動し、会員のお点前によって、お抹茶を頂き、和気あいあいとした時間を過ごせました。京都府茶業会館は、昭和3年に建築された木造2階建ての近代和風建築で、内部の洗練された意匠が大変美しい建物でした。

徳光都妃子





2025 10/5 Sun

## ヘリテージマネージャー委員会
# 京彩まちあるき＋デジタルマップ整備

竹山奈乙雪

**[実施場所]**
京都市南区久世

**[結果報告]**
調査対象の久世地区には、大規模な農家住宅が今も多く残ることを実感した。一方ではそれらが更地になり、マンション建設用地として供された工事現場も確認した。見学地の戸倉家（京都を彩る建物として選定済）では、家長からお話をきき、そのような背景にあって家屋の継承が大きな課題であるとされた。事業の参加者には問題の共有が出来たものと思われる。まちあるきを経て整備された当地区のデジタルマップには歴史的な建物が30余り登録された。それらの内より弊委員会にて幾つかを選び、あらたな京都を彩る建物として京都市に推薦をする予定。





2025
10/19
Sun

青年部会 地域実践活動担当会

## 子ども向け事業 合板芯材でミニモルック作り①

井川 大裕





【実施場所】
京都市役所前広場

【結果報告】
京都市が主催するイベントにおいて、京都府産の木材の利用を推進している団体や木造建築の普及促進をしている各種団体とタイアップしてイベントに出展。
合板の製作時に発生する芯材をモルック（北欧の伝統的なスポーツ）に加工し、紙やすりで仕上げ作業を行ってもらい、一般消費者に建築士の職能や建材としての木のすばらしさを伝える事業を開催。
当日は子どもや親子連れだけでなく大人だけの方など様々な年代の方35組にモルックの制作をしていただきました。子どもだけでなく、家族でモルック作りを楽しまれているのが印象的でした。大人の方には、丸太から合板になるまでの合板の製造方法を合わせて説明しましたが、今後、建築工事などでも木材を身近に感じていただけるのではないかと考えています。イベントでは、木材や森林に関心の高い方も多くおられたので、建築士としてもきちんと木の大切さを伝えられるようになる必要があると感じました。また、学生の方と連携して、イベントを運営できたので、今後も様々な方とコラボレーションできると良いなと感じました。

2025
10/25
Sat

ハート&ハード研究会

## バリアフリー親子体験会

村松 徹也

【実施場所】
京都市役所

【結果報告】
3年目となるバリアフリー親子体験会ですが、今回は会員からも参加者を募り、事前に車いす体験を行いました。常日頃、バリアフリー法や京都市・京都府の条例に基づき設計されている会員の方の中にも、車いす体験は初めての方もいて、スロープをのぼる時のしんどさやトイレ内での車いすの転回の難しさなどを体験し、今後の設計にも生かせるものと考えます。また、親子体験会当日は、3班に分かれて体験しながら寸法や基準を説明する予定でしたが、実際は車いすの数6台ごとの6班構成のような場面もあり、建築士会員10人の体制で対応したことで参加者全員に説明ができました。愛知県建築士会から車いすの建築士である阿部氏にも参加してもらい、実体験を踏まえたお話もしてもらいました。





2025
11/1
Sat

青年部会 研修・セミナー担当会

## 第5回 関西若手建築家の実例から学ぶ

原 利行

【実施場所】
京都市内

【結果報告】
第5回となる本事業では、京都を拠点にご活躍されている建築家・竹内誠一郎氏をお迎えし、同氏が設計を手がけられた伏見区桃山の「月見館」と中京区の「タカ・イシイギャラリー」の見学、そして講演会を実施いたしました。見学会では、構想段階から実際の建築に至るまでの過程を、実物を前にしながら詳細にご説明いただき、ディテールや納まりに対する考え方、家具へのこだわりに至るまで直接お話を伺うことができました。講演会では、新規プロジェクトに関するお話だけでなく、竹内氏ご自身の建築に対する姿勢や哲学にも触れることができ、非常に有意義な時間となりました。



2025 11/9 Sun

## 青年部会 地域実践活動担当会
# 六原フェスタ2025 合板芯材でミニモルック作り②

**［実施場所］**
京都市東山区 東山開晴館六原学舎

**［結果報告］**
六原学区の秋祭り「六原フェスタ」にて地域の子どもたちを対象としたミニモルックの作成体験や実際にスポーツ体験を開催。モルックのスポーツ体験は非常に多くの子どもが参加してくれて木に触れあってもらうことができました。作成体験については11組体験してもらい芯材の成り立ちを知ってもらいながら楽しんで作成してもらいました。来年度も継続して参加し木育や建築士会のPRをしていきたいと思っています。





藤原 出

2025 11/10 Mon

## ハート&ハード研究会
# 宮津天橋高校出前講座

**［実施場所］**
宮津天橋高校、与謝郡聴覚言語障害センター

**［結果報告］**
宮津天橋高校の建築科は、1学年1クラス約25名であるが、ベンチなどの木工品の作成・地元への寄贈や、各種設計提案事業への応募など、活発に活動している。この建築科の1年生にバリアフリー授業の入口として、障がい者を知ること、特に外見からは分かりにくい聴覚障がいについて、宮津与謝聴覚言語障害者センターとともに2時間の出前講座を実施。宮津天橋高校建築科の生徒は25名。当日は欠席もあり19名。障がい者の人口比率、受障時期などを問いながら障がい者について理解を深める。誰もが公平に社会に参加できるためには、障がい者個人の問題とするのではなく、社会環境の問題と捉えることを強調。足が不自由だから出歩けなくても仕方がない、ではなく、足が不自由でも出歩ける環境こそバリアフリーのまちづくりである。建築に携わる者は、社会を構成する全ての人を対象とする視野の広い設計を心掛けなければならない。後半は、外見からは分からない障害といえる聴覚障害について、与謝聴言センター所長にバトンタッチ。

村松 徹也

2025 11/22 Sat

## 青年部会 支部担当会
# 支部会議

**［実施場所］**
舞鶴市

**［結果報告］**
支部会議は、昨年に引き続き「お互いのことを知る」というテーマとし、1人3分で仕事や趣味等について発表をする形式としました。京都府の青年部会にどんな仕事をしている人がいるかを知り、懇親会でより詳しく知ることができ、今後の交流につなげる事のできる内容になったと感じました。

秋山 哲平

2025 11/22 Sat
11/23 Sun

## 青年部会 支部担当会
# 北部見学会

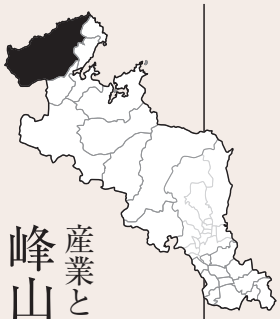
**［実施場所］**
舞鶴市・福井県高浜町・おおい町

**［結果報告］**
支部と本会の青年での交流を深めつつ、地域に学ぶことを目的として開催します。今回は北部を行先とし、舞鶴市とその近郊をクローズアップした計画で、実際に支部の青年が携わった建物（KANMA）の見学や、各支部と本会の青年部会員との交流を行うことで、今後の青年部会活動の活性化を目指します。さらに、同時開催する支部会議を通じて互いの業務や人となりを知り合うことで、より強いつながりを築き、活動の一層の活性化につなげます。
見学会は、舞鶴を中心に巡りました。ほとんどの見学先で、ガイドの方に付いていただき、非常に内容の濃い、地域のことを学ぶ機会にできました。






秋山 哲平



支部だより　丹後支部

産業と信仰が息づく場所――

# 峰山町・金刀比羅神社の狛猫

丹後支部　久保祐一

京丹後市峰山町に鎮座する金刀比羅神社は、1811（文化8）年峯山藩7代藩主京極高備の命によって創建され、地域の人々に長く親しまれてきた由緒ある神社です。古くから海上安全や五穀豊穣、商売繁盛の神として信仰を集め、峰山の町の発展を静かに見守ってきました。現在も初詣や例祭の時期を中心に、市内外から多くの参拝者が訪れ、地域に根付いた信仰の場であり続けています。

この神社で特に目を引くのが、一般的な狛犬ではなく「狛猫」が祀られている点です。織物の町として栄えた丹後地域では、生糸をネズミの食害から守ることが重要で、工場や家々で猫が大切に飼われてきたと伝えられています。産業の歴史が信仰のかたちとして境内に表れている点は、土地と文化の関係性を読み取る上で非常に興味深いものがあります。守り神として猫が選ばれたことは、この地ならではの文化と言えるでしょう。

戦後の高度経済成長期には、着物産業の隆盛とともに丹後各地に織物工場が建ち並びました。織機を動かすたびに利益が上がる様子から「ガチャマン」と呼ばれるほど、町は活気に満ちていたそうです。

当店も父の代には、周辺地域で数多くの織機工場の建築に携わらせていただいたと聞いています。建物を通して地域産業を支えてきた歴史は、今も私たちの仕事の原点になっています。

現在、金刀比羅神社では狛猫の絵付け体験も行われ、子どもから大人まで楽しみながら地域の歴史や文化に触れることができます。信仰、産業、暮らしが重なり合って形づくられてきたこの場所は、建築に携わる者にとっても土地の記憶を感じ取る大切な拠点です。京丹後市峰山の歩みを今に伝える金刀比羅神社を、ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか？



こまねこ



金刀比羅神社

## 募　集

# 「京都だより」作品紹介ギャラリー

あなたの作品を広く紙面で紹介してみませんか？

**本会では会誌「京都だより」に、会員の作品紹介ページを設けています。**
**建築、インテリア、ランドスケープなど、みなさまの個性あふれる作品をお待ちしております。**

### 掲載に関して

- ●募集対象は（一社）京都府建築士会会員が設計もしくは施工に携わったものとします。
- ●掲載料は無料ですが、広報編集委員会にて選考の上、掲載させていただきます。応募作品多数の場合等は、掲載できないこともありますのでご了承下さい。
- ●写真の撮影者名は必ず付記願います。写真に著作権等が生ずる場合は、応募者にて対応願います。
- ●掲載頁数は原則として１頁とします。
- ●建物の特徴や特殊な事柄については簡単な補足説明をお願いすることがあります。
- ●作品の掲載順及び紙面レイアウトを含む全体の構成は広報編集委員会にて担当します。
- ●概要及び説明文はメールで送付願います。

### 提出資料

- ●写　真／外観、内観等 3、4枚。
  画像解像度400dpi以上推奨。
  デジカメ撮影の場合は1メガバイト以上を目安。
  プリントの場合は2Lサイズ程度。
- ●図　面／平面等 1、2枚。
  画像解像度1200dpi以上推奨。
- ●概　要／作品名称、所在地、建築主、設計者、施工者、用途、工期、建築面積、延床面積、構造規模。
- ●説明文／作品に関する考え方を400字以内にまとめてください。

### 原稿期日及び送付先

- ●期　日／毎月25日
- ●送付先／(一社)京都府建築士会事務局
  「京都だより 作品紹介」係

お知らせ

# （一社）京都府建築士会 入会キャンペーン

## 期間：令和8年2月1日～5月31日

会員厚生委員会

標記期間に入会キャンペーンを実施しております。
特典のあるこの機会に、是非多くの建築士の方に建築士会への入会をお勧めください。

### 入会していただくと

- 隔月会報誌が届きます。《京都だより（京都版）・建築士（全国版）》
- 勉強会・見学会に会員価格で参加できます。
- 委員会・部会・研究会・同好会活動に参加・運営できます。
- 地域まちづくりに関する調査・研究・提案・実践・支援等に参加できます。
- 建築士会CPD（継続能力開発）制度に登録します。
- （公社）日本建築士会連合会の建築士賠償責任補償制度、工事賠償責任補償制度に加入いただけます。
- イベントのご案内や行政情報など最新の情報をメールでお届けします。
- 提携専門店での会員割引優待制度があります。

- 入会金・会費は次のようになっています。

| 正会員（建築士免許をお持ちの方） | 準会員（これから建築士になろうとする方） | 賛助会員 |
|---|---|---|
| 入　会　金：　2,000円 | 入　会　金：　1,500円 | 入会金不要 |
| 会費（月額）：　1,500円<br>会費（年額）：18,000円 | 会費（月額）：　1,300円<br>会費（年額）：15,600円 | 会費（年額）：一口 36,000円 |

**キャンペーン期間中に入会された方には特典として、入会金（2,000円）が免除されます。**

表紙のことば




# 祇園町南側

戸田建設株式会社　建築設計統轄部　林　伸昭

祇園町南地区は幕末までは建仁寺の境内地であったが、明治初期に払い下げが行われ、塔頭の跡地が歌舞伎場のほか製茶所や養蚕所、病院などに転用されていたことが知られる。

１９１３（大正２）年、市電の開通に伴い四条通の拡幅工事が行われ、四条通りは幹線道路として整備され、八坂神社の西楼門が四条通りからの正面性を保つために北東に移動されたりしたが、祇園町南地区では花見小路が花街の顔として整備され、現歌舞練場の建設なども行われた。

この地区はさまざまな取組みや制度によって、今なお伝統的な木造建築群の宝庫として繊細で雅やかな街並み景観を維持しているが、お茶屋とその関連業種が数多く存在することは景観とあいまって「祇園の風情・情緒」を醸し出し、職・住・文・遊が共存する唯一無二の街並みを形成する。

花見小路は観光客を迎え華やかな芸舞妓が行き交う舞台装置のような「ハレ」の街並みであるが、一歩脇に入る路地は「生活と仕事の場」である「ケ」の、より親密で静かな空間であり、生活と文化を守る作法がこれからも重要となる地域である。

この春には旧弥栄会館を活用した「帝国ホテル」がオープンし、益々の国際化や活性化が期待されるが、観光客も含め、マナーをわきまえ世界に冠たる街並みが未来にむけて継承されていくよう祈っている。

## 編集後記

先日、「藤井厚二賞受賞記念座談会」に参加しました。京都建築賞第11回から13回の藤井厚二賞受賞者と審査員の顔ぶれに惹かれて、即申し込み。しかも開催場所は聴竹居の「閑室」です。設計者直々にたいへん興味深い話を聞くことができて、日本のより良い住宅を追求した藤井厚二の精神は、確実にその受賞者のみなさんに宿り伝わっているのだと感じました。そこで「伝燈」という言葉を思い出しました。「伝統」は、もともとは「伝燈」と書いたそうです。仏教において、師が弟子に教えを伝えるのが「伝燈」。明かりを絶やさず伝えていくという意味です。昔の夜の座敷を照らすのは、油に浸かった灯心のわずかな光だけ。火を消さないためには、常に新しい油を注ぎ続けなければならないから「伝燈」。守ったり保ったり残したりすることだけが「伝統」ではなく、新しい油、すなわち新しいものを受け入れていかなければ、未来につながらないということと解釈しています。なんだかつながってるぞ藤井厚二と伝燈、などと勝手に満足した座談会でした。

（松田容子）

発行人●山領　正　編集委員長●黒木要州　編集委員●徳光都妃子／西田教子／沼田俊之／橋本光生／堀尾智子／松田容子／森重幸子／矢谷明也
デザイン●中　喜美　印刷●サンケイデザイン㈱

# 一般社団法人　京都府建築士会会員の皆さまへ

2025年7月版

## AIG損保の 集団扱 保険制度 のご提案



会員の皆さまへの メリット

**一般の個別契約と比較して、割安な保険料(※1)でご契約いただくことが可能ですので保険料コストを削減できます。**

団体制度商品として

**自動車保険　火災保険　医療保険**

をご提案いたします。(※2)

**例えば、医療保険（医療総合保険）の場合、**
**入院にかかる公的医療保険の対象となる医療費の**
**自己負担額が 0（ゼロ）になります。**



（公的医療保険制度の自己負担割合に応じて型を選択した場合）
入院時の公的医療保険の対象となる医療費の3割自己負担額と
食事療養標準負担額を高額療養費制度の給付金に関係なくお支払いします。
※入院治療費用保険金(3型)をセットした場合

## 団体の会員の皆さまは各種サービスをご利用いただけます。

この制度（集団扱契約）でご加入いただいた自動車保険 / 医療保険のご契約者さまで、弊社所定のご契約条件に該当する場合には、下記契約者サービス(※3)のご利用が可能です



### ☑24時間健康相談

- 医師、保険師、看護師など経験豊かな相談スタッフが24時間・年中無休体制で健康・医療・介護・育児のご相談に応じます。
- 夜間・休日の医療機関をご案内いたします。
- ご本人とご家族（配偶者ならびに被扶養者）の方がご利用いただけます。
- ご相談内容が厳密に管理されますので、安心してご利用いただけます。

※本サービスは、AIG損害保険株式会社がティーペック株式会社に委託してご提供します。
※ご利用にあたって諸条件がありますので、ご利用の際にお電話でご確認ください。

### ☑電話による 社会保険労務士無料相談

健康保険、労災保険、厚生年金保険などの「ケガや病気、休業や障害に関する給付」についてご相談できます。

受付時間：午前9時30分～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

※本サービスは、AIG損害保険株式会社の委託先である「社会保険労務士法人柏木労務管理事務所」がご提供します。

（※1）分割払（12回）契約の場合：分割係数（5～10%の割増）の適用がありません。一括払（一時払）契約の場合：保険料の5%相当の割引を適用します。（自動車保険のフリート多数割引適用時、および火災保険にセットされる地震保険部分を除きます。また、医療保険は一括払ではご契約できません。商品によっては、最低保険料を適用することがあります。）
（※2）保険商品の詳細につきましては、各保険商品のパンフレットによってご案内いたします。
（※3）本サービスは予告なく変更または中止する場合があります。あらかじめご了承ください。
（注）上記サービスが対象外の保険商品が一部ございます。



### 女性のための 24時間健康相談

**24時間年中無休で、女性に多い病気や妊娠・出産および更年期障害等のご相談に女性の相談スタッフ（医師、保健師、看護師など）がお電話でアドバイスします。**

ご注意 女性のための24時間健康相談は女性の相談スタッフが相談にお応えしますが、お電話を受け付けるスタッフや、相談内容などにより、医師・心理カウンセラー 等の相談スタッフが男性になる場合があります。

## お問い合わせ・お申し込みは

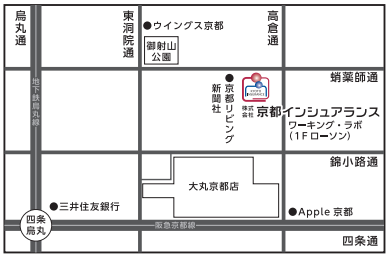

株式会社 京都インシュアランス

担当者：竹村泰造
内藤康子
（担当事務）

京都市中京区蛸薬師通高倉西入泉正寺町３３４　日昇ビル２Ｆ
京都フィナンシャルパークス内（1Fローソン・ドラッグひかり）

**0120-56-3080**（平日 10：00～17：00）

ご相談・お問い合わせは
←コチラから




AIG損害保険株式会社
〒600-8372 京都府京都市下京区
五条通大宮南門前町480
075-371-2111
午前9時～午後5時
（土・日・祝日・年末年始を除く）

https://www.aig.co.jp/sonpo


D-007834　　有効期限：2026年7月

●このチラシは集団扱保険制度の概要をご説明したものです。本制度でご契約いただく場合には所定の条件がございます。詳細につきましては、各保険商品のパンフレット等をご覧いただくか、取扱代理店・扱者または弊社にお問い合わせください。また、ご契約に際しては、保険商品についての重要な情報を記載した重要事項説明書（「契約概要」「注意喚起情報」等）を、事前に必ずご覧ください。
●弊社の損害保険募集人は、保険契約締結の代理権を有しています。




1級建築士合格実績

No.1

令和6年度 1級建築士 学科・設計製図試験

全国ストレート合格者占有率 64.3%

全国ストレート合格者 1,036名中／当学院当年度受講生 666名

令和6年度 1級建築士 設計製図試験

全国合格者占有率 58.7%

全国合格者 3,010名中／当学院当年度受講生 1,768名

★学科・製図ストレート合格者とは、令和6年度1級建築士学科試験に合格し、令和6年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。 ※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※全国ストレート合格者数・全国合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。（令和7年1月15日現在）

総合資格学院 京都校

京都府京都市下京区四条通西洞院東入郭巨山町18番地 ヒラオカビル 6F

TEL:075-253-0481

スクールサイト www.shikaku.co.jp コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp X ⇒「@shikaku_sogo」LINE ⇒「総合資格学院」Instagram ⇒「sogoshikaku_official」

開講講座 1級・2級 建築士 | 構造設計1級建築士 設備設計1級建築士 | 建築設備士 | 1級 管工事施工管理技士 | 1級・2級 建築施工管理技士 | 1級・2級 土木施工管理技士 | 宅地建物取引士 | インテリアコーディネーター | 賃貸不動産経営管理士

● 京都府知事指定 民間確認検査機関 ● 近畿地方整備局長登録 住宅性能評価機関
● 近畿地方整備局長登録 登録建築物エネルギー消費性能判定機関

KYOTO ORGANIZATION OF CONFIRMATION & INSPECTION

株式会社 京都確認検査機構

Kind（親切） Open（明快） Certain（確実） Immediate（迅速）

■業務内容：
- 建築確認（事前審査有）・中間検査・完了検査
- 住宅性能評価《設計評価・建設評価》
- 住宅金融支援機構《フラット35（適合証明業務）》
- 住宅瑕疵担保保険取扱《まもりすまい・JIO・あんしん保険》
- 長期優良住宅建築計画（技術的審査）
- 低炭素建築物新築等計画（技術的審査）
- 建築物エネルギー消費性能確保計画（省エネ適合性判定）

■業務区域：京都府全域

■手数料：当社ホームページをご覧いただくか、窓口で配布の料金表をご覧ください。
- 納入は当社受付窓口または銀行振込で。

■営業時間・休業日
- 営業時間　午前9：00～午後5：30
- 休　業　日　土曜日・日曜日・祝日・年末年始・お盆
（年末年始・お盆については事前にホームページなどでお知らせいたします）

〜ご利用をお待ちしております〜

契約駐車場（新椹木町沿コインパーキング・市営御池地下駐車場）については駐車券を配布しております。




〒604-0931
京都市中京区二条通寺町東入榎木町82
宮崎ビル4階

●ホームページ http://koci.co.jp/
●Eメール sinsa@koci.co.jp

TEL：075-256-8980 審査部
075-256-8981 検査部
075-256-8982 構造部
075-256-8984 評価部
FAX：075-256-8985 審査・構造部
075-256-8986 検査・評価部